

園長印	講師印	園長補佐印	主任印	担任印

週指導計画 木ノ庄東幼稚園 3歳児 いちご組  
11月 2週 11月11日(月)～ 11月15日(金)

期のねらい  
○身の回りのことが自分でできる嬉しさを感じる。  
○自分のイメージしたものになりきって、表現することを楽しむ。  
○寒さに負けず、進んで体を動かす。  
○秋から冬への自然に興味をもち見たり触れたりする。

先週の幼児の姿からの願い

○身の回りのことを自分から進んでしようとする姿や出来たことを喜ぶ姿がある。また排泄の自立をしたことから自信がついている子供がいる。

○わくわく広場では「おばけのパケちゃま」や「はたらくくるま」をなりきって踊ったり、作ったマラカスを持ち歌いながら自分なりに表現したりして遊んでいる。その中で次はステージで使う『魔法のステッキ』や『コスチューム』を作る子供もいる。友達となりきることの楽しさやイメージして遊ぶことを十分に味わえるように、変身アイテムコーナーを整理したり、教師もお客さんになって一緒に盛り上げたりして、ごっこ遊びや身体を動かす遊びの楽しさを感じてほしい。自分なりに表現しようとする姿を大事にして遊びが面白くなるようにしたい。

○ごっこ遊びをする中で、教師や友達とやりとりする面白さを感じている。「へい、いらっしゃい。」「何にしますか。」「エビと唐揚げ下さい」とお寿司屋さんのやりとりや「ジュース紫になったよ。」「こっちは青色よ。」など自分の感じたことを言葉にしたりすることを楽しんでいる。ごっこ遊びやごちそう作りの中で、自分の思いを言葉にしたり、友達の考えに賛同したりしながら友達の思いにも気付けるようになってほしい。

○園に咲いている花をお寿司屋さんに飾りたいと拾って持ってきてくれる。秋の自然に親しみながら深まってきたことを感覚で感じている。また、身近な秋の自然物を使ってごちそう作りを楽しんでいる。実によってこすると出る色が違うことに気付いたり、小枝を箸に見立てたりなどして秋の自然物に親しみ取り入れて遊んでいる。子供の遊びのイメージに寄り添いながら環境の雰囲気を作ることで身近な自然物を遊びに取り入れる楽しさを感じてほしい。

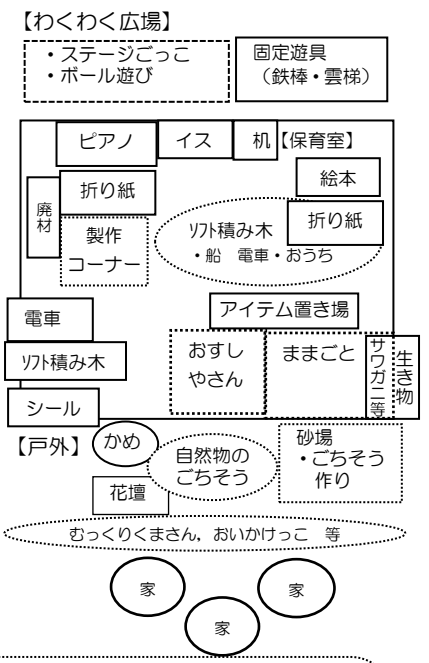
週のねらい  
○身の回りのことを自分でしようとする。  
○教師や友達と一緒にふれあいながら遊ぶことを楽しむ。  
○自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気付いたりする。  
○秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむ。

内容  
・上着の着脱や排泄など身の回りのことを自分から進んでしようとする。  
・気の合う友達とごっこ遊びをしたり、戸外で体を動かして遊んだりする。  
・友達に思いを伝えたり、友達の話も聞こうとしたりする。  
・戸外の木の実や落ち葉などを拾い集めたり、遊びに使ったりする。

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
活動予定 (行事・歌・絵本等)	8:30～9:00 登園 身支度・好きな遊び 10:10 片付け 10:25 振り返り 10:40 排泄 10:50 戸外でむっくりくまさん  11:10 排泄 11:20 給食を食べる。 12:30 好きな遊び 13:00 片付け 13:20 帰りの会 『どうこうじのくるま』 13:40 降園する。	8:30～9:00 登園 身支度・好きな遊び 10:10 片付け・振り返り ♪たきび 10:25 振り返り 10:40 排泄  ・お寿司屋さんとお家のパーティごっこをする 11:20 給食準備食べる 12:30 好きな遊び 13:00 片付け 13:20 帰りの会 『くだもの』 13:40 降園する。	《広島県立幼稚園・こども園教育研究大会》 8:30～9:00 登園 身支度・好きな遊び 10:10 片付け 10:25 振り返り ♪おおきなくりのきのしたて 10:40 排泄・降園準備  10:50 降園する	《わくわく読み聞かせ》 8:30～9:00 登園 身支度・好きな遊び 9:20 片付け・朝の会 ♪まつぼっくり  10:00 わくわくランドに行く ・5歳児のクラスにいく ・遊ばせてもらう 11:20 給食を食べる。 12:30 好きな遊び 12:50 片付け・排泄 13:20 わくわく絵本読み聞かせ  13:40 降園する。	<ばたぼん絵本読み聞かせ> 8:30～9:00 登園 身支度・好きな遊び 9:50 片付け・朝の会 ♪もみじ等  10:25 ばたぼん絵本読み聞かせ  11:15 給食を食べる。 12:30 好きな遊び 13:00 片付け 13:20 帰りの会 『おもちゃのチャチャチャ』 13:40 降園する

○予想される活動 ☆ 環境の構成 ●教師の援助

・秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむように。  
○アイテム作り ○ごちそう作り ○ごっこ遊び 等  
☆落ち葉やドングリ・木の実・小枝などをかごに入れ棚に置き、手に取って遊びに使えるようにしておく。  
☆自分で作ったドングリケーキを部屋に飾り、温かい雰囲気作りをする。  
☆身に着けたりして遊ぶことを楽しめるように、親しんできたダンスの曲を用意したり、安心して遊べる場を確保したりする。  
●子供が自分なりに作ろうとする姿を見守りながら、できない部分を手伝ったりして自分で出来ることの喜びを味わえるようにする。  
●ままごとや戸外で自然物を使って遊ぶ中で片付けの仕方やはさみの使い方も知らせて丁寧に声をかける。



・教師や友達と一緒にふれあいながら遊ぶことを楽しむように。  
○ままごと ○鬼ごっこ ○お寿司屋さん ○砂場 ○ステージ 等  
☆気の合う友達同士が同じ場で、じっくり遊べるようアイテム置き場や遊びに必要な物を準備しておく。  
☆子供から出た遊びに必要な物を準備し作ってイメージが広がるようにしておく。  
●踊りステージでなりきって踊ったり、好きな音楽に合わせて自分なりに表現したりする姿を観客になって盛り上げる。  
●教師も一緒に体を動かし、体を動かして遊ぶことの楽しさや友達と一緒に走ったり、踊ったりする心地よさに共感する。  
●教師も一緒に簡単なルールのある遊びに参加し、ルールがわからない子には必要に応じて言葉がけをしていく。

・自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気づいたりするように。  
○ごっこ遊び ○ソフト積み木 ○お寿司屋さん等  
☆思いのすれ違いなどの場面では、思いを出し合えるように教師が時間をとり丁寧に関わる。  
●友達の話にも耳を傾けることができるよう、教師がそれぞれの気持ちに丁寧に寄り添いながら代弁したり、言葉が出るのを少し待つなどして見守ったりする。  
●教師も友達同士のやりとりを見守りながらも相手の気持ちに賛同し認める言葉をかけ自分の思いを素直に言葉で伝えられるようにする。  
●友達同士のやりとりの中や行動で相手を思いやる行動や言葉は褒め、クラス全体でも伝えていく。

生活習慣・家庭との連携  
●身の回りのことを自分でしようとする姿を認め、できないところは励ましたり、さりげなく手伝ったりして自分でできたという気持ちや満足感を味わえるようにする。  
・咳・鼻水など、体調を崩している子供が多いので、戸外から帰った際に必ず手洗いに加え、うがいをするように教師も一緒に手洗い・うがいをし、言葉がけをする。  
・気温の変化によって、衣服の調節も声をかける。スモックの着脱やたたみ方等、自分でしようとしている姿を見守り、一人一人にあった援助や声かけをしながら、自分でする満足感を味わい、自信へとつなげていく。  
・降園時に毎日、保護者に向けて子供の様子や園からの願いを話し、家庭との連携を図っていく。

評価・反省  
・身の回りのことを自分でしようとしていたか。  
・教師や友達と一緒にふれあいながら遊ぶことを楽しんでいたか。  
・自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気付いたりしていたか。  
・秋の自然物を遊びに取り入れて楽しんでいたか。